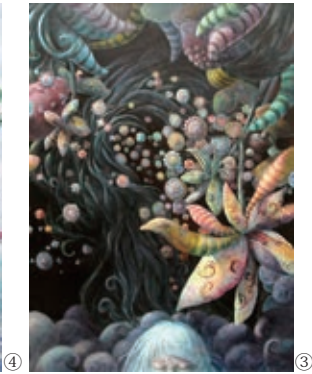




②



③



①

- ① 「駄菓子屋おきく堂」清水結来（3年生）  
第46回全国高校総合文化祭東京大会出品作品
- ② 「△※□の食卓」白石明日香（R3年度卒）
- ③ 「心淵」矢野帆乃香（H28年度卒）
- ④ 「佐野さん日本を背負って交換留学に行く」共同制作（H26年度卒）



発行所  
道前会

愛媛県西条市明屋敷 234  
愛媛県立西条高校内  
電話・FAX 0897-53-2192  
saijodozen@yahoo.co.jp

### 内なる世界を描き出す

～自分にしか描けない世界を追究する～

美術部顧問 藤枝 泉

私が美術部の指導で心掛けていることは「生徒の良さや面白さを引き出すこと」「自分の美意識を押し付けないこと」の2点です。

絵の制作は、その人の趣向や思考（目に見えない内なる世界）を具現化する行為です。それを表現出来た時の喜びを味わうために描いていると言ってもよいと思います。

毎日の部活動は、クロッキーやデッサンそしてコンクールへの出品作品の制作の繰り返しです。デッサン等で表現力や観察眼を磨き、コンクール作品の制作でその成長を確認していきます。

コンクールの中でも県高校総合文化祭は、体育部というインターハイ出場を賭けた県総体のようなもので、全国大会出場を目指し、2カ月以上かけて作品制作に挑みます。

令和3年度の結果は、5名が出品し、優秀賞（作品①）1名、奨励賞1名、審査員賞1名と高い評価を頂きました。

優秀賞を受賞した作品と生徒は、令和4年7月31日から8月4日に東京で開催される第46回全国高校総合文化祭に出品・出場します。

す。東京近郊の皆様、是非見に行ってみてください。

紙面左上には、近年、総文祭で受賞した作品の中で、内なる世界を表現した印象的な作品（②～④）を掲載しておきます。

### アイデアで勝負！

全国まんが甲子園大会出場

アイデアのガチンコ勝負が高知で夏に開催される全国まんが甲子園。本校は毎年この大会にチャレンジし、令和3年度は、2年ぶり7回目の全国大会出場を果たしました。

この大会は、予選課題に対して一枚の漫画を描き、そのアイデアの良さと全国大会出場が決まります。

令和3年度の予選課題は「在宅○○」そこで描いた漫画が在宅勤務を題材にした作品⑤です。どうでしょう。笑って頂けるでしょうか。

まんが甲子園の醍醐味と難しさ、そして生徒の奮闘ぶりは描いた漫画を見て頂くのが一番です。紙面下に、今までの大会予選で描いた漫画を掲載しておきます。



⑦



⑥



⑤

あなたならどんなアイデアこれらの課題を料理されますか。楽しんで頂けると嬉しいです。

- ⑤ 第30回大会課題「在宅○○」
- ⑥ 第28回大会課題「スーパーボランティア」
- ⑦ 第25回大会課題「情報流出」



道前会会長  
真鍋 和年  
(66回)

ごあいさつ

コロナからウクライナ、世界を震撼させる危機が連続します。

会員の皆様には、この信じ難い現実をどのように受け止められ、そしてどのような思いで過ごしておられますでしょうか。

コロナについては、ワクチンが普及し、治療薬の開発も一定進捗、治療法も初期の試行錯誤を脱したようですから、いま暫く辛抱すれば、保健衛生上の危機は克服できるものと期待するところです。しかし、この間普及したテレワークとかオンライン授業等、IT技術が都市や居住、交通、労働、教育などのあり様をどのように、どの程度変えるのか、社会の将来には不安が残ります。

ロシアのウクライナ進攻は、あり得べからざる驚愕のハブニングです。多くの人命が失われていることに胸が痛みます。また、戦後平和体制に重大な責任を負うべき国連安保理常任理事国が行った国際法無視の行為ですから、救いがあります。しかし、冷静に振り返ってみれば、ソ連時代も含めロシアは、グルシアにもチェチェン

にも軍事進攻しましたし、「プラハの春」、「ハンガリー動乱」においても戦車で主権国家を蹂躪した過去がありますから、あつてはならないけれども、驚くには当たらないことなのかも知れません。いずれにせよ、世界平和を維持するためのメカニズムが崩壊の危機に瀕しているのですから心配です。

このような中、私達の道前会も各地区総会はもとより、卒業五十年のご招待、道前塾などの諸活動が停滞しております。そのため、直近二年間在任された白木校長先生と会員の皆様とが親しく懇談する機会を得ることも、残念ですが、叶いませんでした。

それでも、「制服リカちゃん人形の企画販売」で好評をいただいたことや「日本を動かす名門高校人脈」の取材を受け、母校がダイヤモンド・オンラインで発信されるといつたトピックスもありました。因に、取材に来られた猪熊記者からは、藩政時代の本丸が校地になっている高校は西条高校のほか、水戸第一高校、園部高校、鹿島高校、五島高校だと教えられました。

また、在校生は、文化・スポーツ・学業、それぞれの分野で頑張ってくれています。野球部は久々に秋の四国大会出場を果たしましたし、学業でもSSH関連の全国コンクールで幾つもの優秀賞に輝き、まんが甲子園

観光甲子園で決勝進出、また輝安鉦をテーマとしたクラウドファンディングへの挑戦も、会員の皆様のご支援もあり見事成就しております。進学についても、国公立合格者一〇〇人の大台を超えましたのでこのあたりのところはご安心ください。



第38代校長  
丸尾 秀樹

ごあいさつ

全国の道前会会員の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別の御理解と御支援・御協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、私はこの度の人事異動で、白木俊一校長の後任として総合科・学博物館から赴任いたしました。実は平成元年に新規採用教員として4年間勤務して以来の西条高校でございます。今になって思えば、

私にとって、愛媛県に帰ってきて最初の学校が西条高校であったことは、なんと幸運なことであったかと感謝の気持ちでいっぱいでございます。

私の教師としての始まりは香川県の尽誠学園高校でした。今から思えば、野球の一番強かった時代で3年間勤務した間に甲子園には4回出場しました。そして、西条高校もまた、赴任したその春に甲子園出場し、4年目の夏に再び甲子園に出場するという、私の新採時代はどうしたわけか甲子園に縁がありました。その際に、道前会から「寄付金を集める等の業務は先生方には一切させません。」と言っていたとき、通常の教育活動に専念させていただけたことに随分驚き、感謝いたしましたことを鮮明に覚えております。

当時、先輩教師も厳しかったです。「お前は、進学校の経験がないのだから、本校で教える限りは『大学入試問題正解』（全国の国立大学の二次試験及び主な私立大学の試験問題が詰まっている本）を夏までに全問解け。」と言われ、毎年実践しました。先輩教員自身も、自らを律し、生徒に対して日々熱心な指導をしておられ、常に頭が下がる思いでした。自分も本校の先輩教員のような「生徒を伸ばす教員になりたい」と思ったものでした。力のある先生が、それぞれの生徒を見据え、的を射た指導

を熱心に行い、生徒が確実に伸びていく。西条高校は、今も昔も熱い学校です。校歌一番にも歌われているとおり、力と熱とに伸びゆるところです。

本年度はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業5年間の最終年度であり、国際理科の単独募集5年目という節目の年です。「有法子」の精神を受け継ぎ、本校にとつてさらなる飛躍の年となることができようように全力で取り組む覚悟でございますので、今後とも引き続き、皆様方の温かい御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の御多幸をお祈りいたしますとともに、道前会のみならずの御発展を心より祈念申し上げます、御挨拶いたします。



第37代校長  
白木 俊一  
(80回)

お礼の言葉

この三月で、三七年間の教員生活を終えることとなりました。教員生活の最後の二年間を母校で過ごせたことを大変ありがたく思っています。また、在任中は、道前

会の皆様から数多くの温かいご厚情をいただき感謝の気持ちで一杯です。ただ、この二年間は、コロナ禍の中で、本部や各支部の総会等も開催されず、皆様にもきちんとご挨拶もできずに退職してしまふことを非常に申し訳なく、残念に思っています。

ある種、特異な二年間ではありましたが、やはり西条高校生は素晴らしいと改めて実感しています。学習活動はもちろん、学校行事や部活動にも大きな制約をかけるを得ませんでした、そんな中でも生徒たちは常に前向きに取り組み、大きな成果を上げてくれました。特に進学においては、これまでにならぬ数の生徒が国立大学へ合格するなど、生徒や先生方の努力に頭が下がります。また、

文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けて四年がたちましたが、年を追うごとに課題研究の質も向上し、各種コンテスト等で上位入賞を果たしたり、SSHの成果を武器にして大学の推薦入試で合格する生徒も増えていきます。

部活動においても、ソフトボール部、ソフトテニス部、弓道部、陸上競技部、柔道部、合唱部などを中心に素晴らしい成績を上げてくれており、頼もしい限りです。野球部については、昨年の秋季大会の県大会で準優勝し、選抜甲子園をかけて四国大会に進出したこ

とは記憶に新しいのではないかと思います。この夏は、久しぶりの甲子園出場も夢ではないと大いに期待を膨らませています。

生徒たちは、抜群の教育環境のもと、「質の高い文武両道」を達成すべく、熱心に部活動に励むとともに、進路目標を実現させるために懸命に努力しています。将来、この生徒たちが、本校の卒業生として自信と誇りを持って県内外で活躍することを願っています。

この二年間、学校運営を行っていく中で、本当に多くの皆様にお世話になりました。至る所に本校の卒業生がおられ、いろいろな面で助けていただいたり、励ましていただいたりすることが多く、道前会のありがたさを何度も感じました。全国各地に、母校を愛し、常に気にかけて、温かく見守ってくださる方が数多くいらつしやることを大変心強く思います。皆様方のご協力、ご支援があつてはじめて西条高校は発展していけるものと確信しておりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。四月からは私も一会員として、母校の発展を見守っていきたいと思えます。

最後になりましたが、道前会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健康とご活躍を心より祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

## 部活動状況

まだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、令和三年度は、主催者側・参加者側双方で工夫をして少しずつコロナ禍以前の状況に戻そうとした一年だったように思います。

令和三年度の部活動加入率は、全校生徒の九二・八%で、文武両道の下、多くの生徒が学業とともに部活動に励み、有意義な高校生活を送っています。

運動部においては、県総体に百九十五名が参加しました。ソフトテニス部女子個人が三位に入賞し、全国高等学校総合体育大会に出場しました。四国総体には前述の部以外に弓道部女子個人、ソフトボール部、陸上競技部女子走高跳・女子七種競技・女子四百メートル、柔道部女子個人、社会活動部・少林寺拳法、水泳男子バタフライ百メートル・同二百メートルが出場しています。また、野球部が秋季県大会で準優勝して四国大会に出場し、新人大大会や選抜大会では陸上競技部女子百メートル・二百メートル、ソフトテニス部男子個人、柔道男子団体・個人が四国大会に出場し、社会活動部・少林寺拳法女子組演武の部(自由)が全国大会へ出場しています。他、社会活動部のスポーツクライミングや馬術も全国レベルの大会に出場しています。

文化部では、全国高等学校総合文化祭(和歌山大会)に科学部(地学)と社会活動部(吟詠剣詩舞)が出場し、科学部(地学)が優秀賞を受賞しました。県高文祭には百十名の生徒が参加し、合唱部と科学部(地学)と社会活動部(吟詠剣詩舞)及び美術・マルチアート部の一人が令和四年度の全国総文祭(東京大会)に出場を決めています。ほかにも、美術・マルチアート部がまんが甲子園の、ESS国際理解部が観光甲子園2021の決勝まで進み、書道部は全国高校書道展などのいくつかの全国レベルの書道展で特選等の入選を果たし、

科学部(化学)が高校化学グラウンドコンテスト最終選考会審査委員長賞をはじめとする多くの賞を受賞するなど、体育部・文化部ともに充実しました。

令和三年度も全国大会に出場するに当たり、道前会よりその都度御芳志を賜りました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。なお、道前会にも協賛していただいております恒例の芸術文化発表会ですが、例年同様八月十三日に西条市総合文化会館で実施する方向で準備を進めておりましたが、発表会直前になって新型コロナウイルスの感染急拡大によって愛媛県全体での中止要請があり、実施を断念しました。次回令和四年度も八月十三日(土)に実施する予定です。ダンス部・日本音楽部・合唱部・吹奏楽部それぞれの部員たちは、この発表会を励みに練習に打ち込んでいきます。状況が改善され、ご来場いただけるようになりますら、ぜひご覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

これからも、校訓の文武両道の精神の下、部活動や勉学に励む、心身共に成長した生徒を育てたいと思います。道前会の皆様におかれましては、今後とも温かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

## 全国大会出場者

- 【体育関係】
- ◎全国高等学校総合体育大会
  - ・ソフトテニス部女子個人
  - ◎全国高校選抜大会
  - ・社会活動部(少林寺拳法)女子組演武の部

## 【文化関係】

- ◎全国高等学校総合文化祭
- ・科学部(地学) 自然科学部門
- ・社会活動部(吟詠剣詩舞) 合同の部
- ◎まんが甲子園
- ・美術・マルチアート部
- ◎高校生国際美術展書の部
- ◎全国高校書道展
- ◎国際高校生選抜書道展
- ・書道部
- ◎観光甲子園2021
- ・ESS国際理解部
- ◎SSH生徒研究発表会
- ◎日本学生科学賞中央審査
- ◎高校化学グラウンドコンテスト
- ◎朝永振一郎記念「科学の芽」賞
- ・科学部(化学)

進路状況

令和3年度(R4・3)卒業生

令和4年3月31日現在

進路課長 樋田 修一



令和3年度(R4.3)卒業生 合格者数(延数)

Table showing graduation statistics for R4.3, including categories like '大学' (University), '短大' (Junior College), and '専修学校' (Vocational School), with columns for gender, institution type, and counts.

令和3年度(R4.3)卒業生 進路状況(進学者)

Table showing career paths for R4.3 graduates, including categories like '大学' (University), '短大' (Junior College), and '専修学校' (Vocational School), with columns for gender, institution type, and counts.

先日入学式が挙行され、令和四年度がスタートしました。スーパースイェンスハイスクール(SSH)の指定を受けて五年目を迎え、全校生徒が課題研究に取り組んでいます。地域を誇りに思い、地域に貢献でき、世界で活躍できる総合力を身に付けた「多次元マルチリーダー」の育成に、全教職員一丸となつて取り組んでいくところです。

さて、今春卒業した生徒の進路状況を振り返ります。国公立大学合格者の延べ数は百五名(既卒者三名含む)で、二年続けて百名以上の合格者を出すことができました。これもスーパースイェンスハイスクール(SSH)の指定を受けてからの四年間の課題研究などを通しての思考力・判断力・表現力を高める取組が実を結んだ結果であり、三年学年団が中心となり、全教職員が受験指導に当たること

で得られた成果だと考えております。内容においては難関と呼ばれる京都大学に一名、大阪大学に一名、九州大学に四名が合格しました。また、徳島大学医学部医学科に一名、岡山大学に二名、愛媛大学に十七名が合格しています。国公立大学合格者数のうち総合型選抜・学校推薦型選抜で合格した生徒が六十八名(共通テスト利用なし四十八名、共通テスト利用あり二十名)で合格者全体の六十五パーセントを占めています。私立大学においては、国際基督教大学(二名)、東京理科大学(二名)、明治大学(一名)、同志社大学(二名)、立命館大学(四名)、関西大学(五名)、関西学院大学(八名)、松山大学(六十五名)など、合計三百七十三名(延べ数)が合格しました。

と前年と比べて四千二百七十七人増加しました。国公立大学志願者数は四十二万八千六百五十七人で、対前年指数百一と前年並みとなりました。

令和3年度一般会計決算報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位 円)

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入額, 増減, 摘要. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 手数料, 広告料, 雑収入, 合計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出額, 増減, 摘要. Rows include 総務費, 需用費, 通信費, 旅費, 人件費, 事業費, 会議費, 總會費, 予備費, 合計.

収支差引額 収入額 10,675,400 - 支出額 7,291,924 = 繰越額 3,383,476

令和3年度積立金会計決算報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位 円)

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 次期繰越額.

令和3年度全国大会出場祝基金会計決算報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 受取利息, 次期繰越額.

令和3年度末財産目録

令和4年3月31日 (単位 円)

Table with 2 columns: 預金, 金額. Rows include 東予信用金庫普通預金, 愛媛銀行普通預金, ㈱ゆうちょ銀行振替口座, 伊予銀行普通預金.

Table with 2 columns: 資産合計, 金額. Rows include 資産合計, 任意積立金, 全国大会出場基金, 一般会計繰越金.

令和4年度一般会計収支予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位 円)

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 手数料, 広告料, 雑収入, 合計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 総務費, 需用費, 通信費, 旅費, 人件費, 事業費, 会議費, 總會費, 予備費, 合計.

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。 令和4年4月5日

Accounting audit signatures: 秦敏明, 阿蘇道子, 徳増竜伍.

令和3年度年間行事

令和3年4月～令和4年3月

令和3年

- 4月7日(水) 令和3年度会計監査
4月8日(木) 令和3年度入学式
4月16日(金) 会報委員会
6月17日(木) 理事会
7月15日(木) 理事会
8月13日(金) 芸術文化発表会(中止)
9月7日(火) 運動会(無観客)
9月28日(火) 文化祭
10月29日(金) 制服リカちゃん人形発送開始
11月18日(木) 理事会
12月16日(木) 理事会

令和4年

- 2月28日(月) 卒業式予行・道前会入会式
3月1日(火) 令和3年度卒業式(第122回)
3月24日(木) 理事会・会報委員会

令和4年度事業計画書

- ◎会報の発行(第30号は2022年6月1日発行予定)
◎道前塾・移動道前塾の開催(開催日時・講師は未定)
◎支部活動への助成
◎同期会開催等への支援・協力(資料作成・卒業50年目の卒業式への案内等)
◎卒業生へ記念品の贈呈(卒業証書ファイル・道前賞)
◎新入生へ絵葉書の贈呈(我が母校)
◎生徒の全国大会出場へのお祝い(高体連・高野連・高文連・全日本合唱連盟主催)
◎文化祭における在校生への啓発活動(道前会コーナーの開設)
◎文化部発表会の助成

# SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取組について

本校は、文部科学省より平成30年度からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けています。指定の対象となるのは、将来の国際的な科学技術人材の育成に向けて先進的な理数教育に取り組む高等学校等です。指定校は、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践を行い、課題研究をはじめ、観察・実験等体験的・問題解決的な学習に取り組めます。愛媛県では、松山南高等学校、宇和島東高等学校に次いで本校が3校目であり、東予地区では唯一の指定校です。

今年度は、I期指定期間(5年間)の最終年度に当たります。これまで本校では、科学的視点に立つて物事を考えるスキルを身に付けさせることを目標に、全ての教育活動においてSSH事業に取り組んでまいりました。その結果、年を追うごとに、全ての教職員、生徒がSSH事業に関わる意識を強く持つようになり、全校体制で取り組む雰囲気醸成されています。現在、II期目の申請に向けて準備を進めているところです。昨年度は、2年連続で海外研修を中止するなど、一昨年度に続いてコロナ禍による大きな制約を受けました。しかし、そうした中であっても、年度当初から様々な代替案を立てて計画的に研修を進めることができました。その一つがオンライン海外研修です。1年生21名が参加し、イギ

リスのキャリアウィズ・カレッジと連携し、理学分野の研究動画を半年かけて制作しました。昨年12月13日には、研究動画意見交換会を現地と結んで開催し、現地研修に匹敵する充実した研修になりました。



オンライン海外研修



また、昨年度末には、SSHに3年間取り組んだ生徒が卒業しました。国公立大学への進学実績をはじめ、SSH2期生として、一昨年度の卒業生に匹敵する優れた成果を収めることができました。大学入学共通テストで思考力を問う問題が増加し、各大学で学校推薦型や総合選抜型入試の比率が大きくなるなど、高校側も新しい入試に対応を迫られています。しかし、本校の多くの生徒は、SSHで身に付けた思考力・判断力・表現力を発揮して、この困難を見事に乗り越えています。SSHの取組は、まさに生徒たちの進路保障に直結する取組と言えるでしょう。

本校のSSHの特徴は、理系・文系を問わず全ての生徒を対象に事業を展開していることです。これまでの取組によって、課題研究や科学系部活動が充実し、各種コンテストへの応募点数・入賞点数が年々増加しています。昨年度に限っても、自然科学系では「全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表・地学部門」で優秀賞を受賞し、「第65回日本学生科学賞」では県教育長賞を受賞しています。文系でも、「2021 Voice of Youth Empowerment サステナ英語プレゼンテーション」で最終発表会に出場するなど、大きな成果を挙げています。

また、本校の取組は、地域とのつながりを重視している点も大きな特徴です。今年度も西条市、新居浜工業高等専門学校、愛媛県総合科学博物館と連携し、生徒の課題研究や研修の充実を図っています。昨年度からは、研究成果を地域へ広げることを目指して、近隣の中学校や他の高等学校を巻き込んだ形で研修会や発表会を開催しています。



成果発表会

SSHの指定以来、道前会の皆様には従来にも増してご支援・ご協力をいただいております。県外の大学や研究機関、西条市や地域企業の皆様と連携させていただく際には、本校OBの方に関わっていただくことが多く、大変ありがたく存じます。都市部の指定校に比べますと、本校にはどうしても地理的なハンディがあります。しかし、皆様のお力添えをいただくことで、単にこれを克服するにとどまらず、豊かな地域資源に恵まれた本校ならではの取組を進めることができていると思います。今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

## 西条商工会議所

会頭 星加隆夫 (74回)

本所 愛媛県西条市朔日市779番地8 電話 0897-56-2200 FAX 0897-56-2206  
 東予支所 愛媛県西条市周布220番地2 電話 0898-64-5000 FAX 0898-64-0757



# 支部会だより

## 東京道前会

東京道前会会長 伊藤雅史 (74回)

令和2年に東京道前会会長となりました伊藤(74回)です。会長就任の総会はコロナ禍で中止、令和3年度も10月開催という特殊な日程で準備を進めておりましたが、2年連続で中止を決断せざるを得ませんでした。そのため、現在の役員は会員に直接の挨拶もできないまま現在に至っております。

総会だけではなく新年会や、母校での文化祭への参画もできず、唯一開催できたのは昨年10月の第67回東京道前会ゴルフコンペで、参加者の熱気でコロナも退散し無事終了しました。

東京道前会報第37号も例年の目玉である総会記事がない分、様々な内容で寄稿していただきましたので、充実したものとなりました。東京道前会報は新しくなったホームページで過去12年間分の会報が閲覧できますので、会員の皆様にも是非、お立ち寄りいただければと思います。

東京道前会の運営に関しては、一昨年度からリモート会議により幹事会や運営委員会を試行錯誤で開始しましたが、こういう時期であるからこそ頑張らなければと、役員の士気の高さに感動しているところです。

昨年はリモート会議がすっかり定着した感がありますが、実際に集ったの会議と同じ訳にはいきません。しかし、時間や場所の制約が少ないなどメリットも感じており、このような時代や社会の大きな変革に、同窓会として今後どのように取り組むか、大きな課題と感じています。

そのような時代の潮流のなかではありますが、総会は年に一度の登校日、今年度こそは総会を開催し、お互いの顔を見ながら心行くまで語り合いたいものです。それだけではなく、道前会本部や各地区道前会の皆様との交流、母校における活動も、盛り上げていきたいと思えます。

最後に個人的な想いになりますが、「黒髪のリカちゃん」、私も妻も子供



千鳥ヶ淵夜景 等潤病院副院長谷口泰之氏撮影

## 東海道前会

副会長 森山桂一 (60回)

令和3年度は総会開催年度(隔年開催)ではありませんでした。前年度コロナ禍のため開催できなかったのが一年遅れで開催する予定にしておりませんでした。しかし次々にコロナ禍が襲来したため開催することができませんでした。今年度もオミクロン株の猛威のため見通しがたない状況にあります。しかしコロナ禍が収まり次第開催する予定にしております。

行事につきましては11月、デルタ株の第4波が急速に収まってきた時期、感染に十分注意しながら恒例の秋の親睦ゴルフ大会を実施しました。

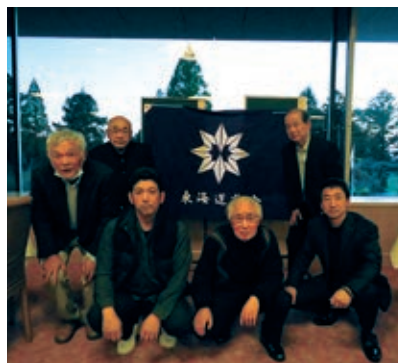
コロナ禍の影響や高齢化のため参加人員が少なく6人の参加となりました。そのためコンペ方式ではなく順位を付けない親睦ゴルフとしました。

例年参加されている山路正雄会長(50回)が腰を痛めて欠席されましたが今回東都リーグ(亜細亜大学)で優勝、明治神宮大会でも優勝しその後社会人野球(JT、JR西日本、JR東海)でも投手として活躍された中須賀諭氏(96回)が初参加されました。

11月14日(日)、場所は名門東名古屋カントリークラブ、天気にも恵まれて皆さん元気に楽しくプレーすることができました。終了後はコロナ

禍のため席を離して懇親会を行って親睦を深めました。

東海道前会では設立から今日までの歴史をまとめる作業をしております。2年前長野達夫副会長(58回)が設立から平成20年までの歴史をまとめて下さったので東海道前会誌に掲載いたしました。引き続き長野副会長が平成20年以降今日までの歴史についてまとめられたので次回の会誌に掲載する計画にしております。



## 「西条高校オリジナルリカちゃん」

### 完売御礼

「西条高校オリジナルリカちゃん」が完成し、令和3年10月26日(㈩)サラトより道前会事務局に納品されました。県内初であり斬新で、セーラー服を愛し懐かしむたくさんの卒業生の後押しで無事に完売いたしました。



© TOMY

西条市内を中心に活動しているコーラスグループの発表会

# さいじょうコーラスフェスティバル

2022年7月17日(日) 西条市総合文化会館 大ホール



※詳細は当館のホームページで発表します  
※感染症の拡大状況により中止・延期することがあります

### 近畿道前会

会長 岩崎秀雄 (65回)

道前会会員の皆様、お変わりございませんか。早いもので新型コロナウイルスが世界を席卷してからもう丸3年が経ちました。しかしまだコロナウイルスは変異を続け、世界中の人々がコロナウイルスに悩まされ続けており、本当に大変な世界になってしまいました。新型コロナウイルスの感染者は増えたり減ったりを繰り返しますが、ウイルスが世界から消えてなくなるという事はあり得ない事だと思えます。我々はWITHコロナを認め、自分の間上手に付き合うしかない世界になったようです。

コロナ問題はさておき、コロナの影響により道前会の総会が開催できない事が、現在の我々の最も大きな悩みです。近畿道前会の総会参加者には高齢者が非常に多いのですが、益々高齢化が進み、次に総会を開催する時は、高齢者対策をどうしたものかと悩みます。若手会員にも参加してもらおうと、大学生と交流を図っておりましたが、その大学生が次々と卒業して社会に出て行きます。新しい大学生との交流を継続するのもなかなか大変な事です。又役員は総会で承認されないと変われないルールとなっており、そのルールに従っていると会長の私もいつの間にか後期高齢者の通知が市役所から届いてしまいました。早く総会が開催され、若い役員にバトンタッチが出来れば本当に嬉しい事だと思っております。

ところで近畿道前会役員はこの新型コロナウイルスが猛威を振るう中、どのようにして意思の疎通を図っているかと申しますと、副会長の小西谷ヒロミさんの提案により、グループライン「近畿道前会」を立ち上げて役員相互の意思の疎通を図っております。平素はこのグループラインを使っています。意思の疎通を図るのですが、実は最も多い内容は「阪神タイガースが勝った、負けた」の内容です。私は大阪に住んでいながらそれ程阪神タイガースファンでは無かったので、いつの間にか阪神タイガースの大ファンになってしまいました。阪神が勝った、負けたと騒いでいる人を横目で見ていましたが、今ではとても横目で見られなく、正面から鋭く見えています。しかし今年は絶対に優勝するものだと思っていました。が、勝負は分からないもので残念ながら「優勝」を逃してしまいました。近畿道前会の役員の中にタイガースのファンとしては何処に出しても恥ずかしくないというか、何処に出しても恥ずかしいほどの猛烈な役員がいます。それは浜敦宏(通称ハマちゃん)という会計幹事でラインの登録名がトラッキーと言います。殆どのホームゲームは甲子園に行つて応援するという力の入れようであり、タイガースファンの鑑のような人です。西条高校からも秋山選手がタイガースに入団していますし、我々役員も秋山選手の活躍を一喜一憂しながら観戦しています。又近畿道前会の副会長の本田勝之さんに音頭を取ってもらい、美味しい焼き肉を食べに行

き、親睦を図り仲間意識を高めていきたいと思っております。申し遅れましたがこのグループラインには西条市の職員で大阪駐在の伊藤修さんにも入って頂き、西条の情報を頂いたりしながら大変お世話になっていきます。そんなこんなで我が近畿道前会は役員らの意思の疎通を図りながら、コロナが明けた後の明るい空を思いながら活動している今日この頃です。



万博記念公園

### 岡山道前会

岡山道前会顧問 二浦賢稔 (58回)

#### 「吉備の国」に結成されて四十周年

岡山道前会のエリアは、岡山県内の「吉備の国」と称されてきました。吉備の国は、古事記、日本書紀の記述から大和政権と大変深い関係があったことが伺われます。

第一は、神武天皇が日向から大和に向かう(東征)際、吉備の国に一時、

宮(高島の宮)を構え住まわれたこと。第二は、第十五代の雄神天皇は妃の兄姫(えひめ)が両親に会うために吉備の国に里帰りした際、後に自身も当地に赴き葦守の宮に住まわれ、兄姫はじめ親族に領地を分け与えられたこと。第三は、第二十六代継体天皇は、雄神天皇の五世の孫(第二十五代武烈天皇)に皇統を継ぐ者がいなかったためとされていること。また、遺跡においても、さきにユネスコ世界遺産に登録された大阪府下にある遺跡群のうち、第十六代仁徳天皇の御陵とされている前方後円墳と規模(サイズ)が同じものが吉備の国に存在(作山古墳、造山古墳)します。これらのことから、大和政権(皇統)のルーツは吉備の国にあると推察できるのではないかと思います。

この由緒ある地で活動している岡山道前会は、昭和五十八年(1983年)に結成され本年度四十周年を迎えました。岡山道前会の誇るべき特色は、会員の多くの方が文芸の分野で趣味の域を超えた活躍をされていることです。写真、書道作品の展覧会への出品や短歌、俳句、川柳などの雑誌、新聞への投稿に取り組みられています。特に、俳句については、昨年の会報誌でも紹介させていただきましたが、日本有数の俳句誌で最優秀大賞を受賞された方をはじめ、新聞各紙の俳壇に毎週のように掲載される方々がいます。

この伝統と特色のある岡山道前会でありませんが、近年、各種行事(総会、懇親会、親睦旅行等)への参加

西条市にゆかりのある音楽家の演奏会 入場無料

# さいじょうクラシックフレッシュコンサート

2022年8月11日 木・祝 西条市総合文化会館 大ホール

※詳細は当館のホームページで発表します  
※感染症の拡大状況により中止・延期することがあります



者が漸減傾向にあり、かつ高齢化しております。このため、地元新聞の読者ページに総会の記念写真付きで情報発信などを行っておりますが、今後とも、本部をはじめ皆様の英知をいただきながら当会が絶滅危惧種にならないよう格段の努力を傾注していきたいと考えております。



後楽園と岡山城

## 広島道前会

幹事 白石正淑 (57回)

私五十七回生で会報初の投稿となり、会の報告に替えての拙文どうぞご容赦下さい。

元号が令和になり四年目を迎えました。

令和という元号は穏やかで、典拠となったのが、万葉集の梅花の歌からであった。

初春令月気淑風和(初春の令月にして気淑く風和らぐ)。穏やかである

はずが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが宣言されて既に二年の令和が経過しました。コロナ禍で他支部同様、広島道前会総会も二度に渡り中止。私にとつての総会は「皆様と語り合う事」が西条の空気に薫りを甦らせてくれ情報を届けてくれる唯一の時間なのです。

寺山修司さんの詩ですが、「時計の針を前に進めれば時間となる。時計の針を後ろに進めれば思い出となる。」針を後ろに進めて、西条の思い出(自ずと私事になりますが)を少し振り返ってみよう。昭和二十年戦時下。小学一年、空襲警報により防空頭巾を被り走りながら明屋敷の自宅に駆け込むと母が玄関に、「母の思い出も、自分史の始まりも」この状況の記憶からである。

北中学校に進み、昭和二十九年に当時も有名校でもあり憧れ校でもあった愛媛県立西条高校に入学。西条高校の周囲は幼い頃からの遊び場で、特にお矢来は毎日のように遊びに行っていた。同級生の仲間達・甲子園の応援プラスバンド・部活での共有など断片的にですが当時が走馬灯のように甦ってきます。特に高校生活最後にアルバム委員になり学生生活の集大成として、諸行事・記録等の「アルバム作成」に携われた事が何よりも心に残る嬉しい思い出であり、西条高校時代は「我が人生」という一冊の物語の中心にしっかりと刻み込まれています。

齢八十を過ぎますと人生最終章ではありますが、今日から明日へと時計の針を進め、さらなる物語を

綴るべく意気軒高挑戦の日々であります。今年こそは、コロナウイルスが一日も早く収束し、秋の広島道前会総会が開催出来ることを切に願っています。



慰霊碑【安らかに眠って下さい 過ちは 繰り返させぬから】

## 松山道前会

会長 亀岡マリ子 (65回)

今春卒業された皆さんは、卒業後三か月余り経ちましたが、新しい学生生活・社会人生活にはもう慣れたでしょうか。

卒業生が西条高校に入学された二〇一九年十二月、中国の武漢市で新型コロナウイルスの感染が発表され、瞬く間に世界中に広まりました。日本国内でも翌一月には感染者が確認され、急速に感染者数が増加し、それまで当たり前と思われていた生活が当たり前ではなくなり、私たちの

日常生活が一変してしまいました。学校は一斉休校、外出・会食・集会等はすべて自粛、様々な制約の中で不自由な生活が余儀なくされました。それでも当初はそれがこんなにも長く続くとは予想だにしませんでした。収まるかなと思うと次の波が起き、すでに第六波まで来てしまいました。いつまで続くのでしょうか。うんざりです。

当然？松山道前会の総会は、二年続きで中止せざるを得ませんでした。その間、大変お世話になった方や、総会には毎回出席して下さっていた方の訃報連絡が届きました。誠に残念でたまりません。

私が尊敬し、人間的にも憧れを抱く仕事上の先輩が、「世の中いつ何が起るかわからん。行かれる時に行つとく、出席できるときは出席する、会えるうちに会つとくことが大事」とおっしゃいます。まったく同感です。

コロナ禍が始まって以来、会員の皆様とお会いする機会が一部の人を除きほとんどありません。総会の再開を心待ちにしてくださいませ。声も届きます。一日も早くコロナ禍が終息し、盛大に総会を開く日が来ることを願うばかりです。

「初めまして、松山道前会によるこそ、歓迎いたします。」「お久しぶりです。お変わりございませんでしたか?」積もる話に花を咲かせ、老若男女が互いに遠慮なく笑い合える日を楽しみにしています。

さて、皆さんにお会いしたら、何から話し始めましょうか?今からワクワクいたします。

参加者募集!!

大ホールでピアノを弾いてみませんか

《会場》西条市総合文化会館    スタインウェイD-274    《参加費》1区分2時間 5,000円(税込み)  
 西条市丹原文化会館    ヤマハCFⅢ    ※ホール使用料・設備備品使用料込み

※詳細は西条市総合文化会館・西条市丹原文化会館の公式サイトをご覧ください。

# 道前会西条市役所支部

幹事長 寺川 齊 (81回)

西条市は、今年1月に「田舎暮らしの本」発行元の宝島社が公表した「2022年版住みたい田舎ベストランキング」の「若者世代・単身者が住みたい田舎」部門で全国1位を獲得し、同部門においては3年連続全国1位となりました。

西条市が「全国の若い移住検討者に注目されるまち・選ばれるまち」であることは、そこに住む人々にとりまして「住みやすいまち・住み続けたいまち」ということにつながるのではないのでしょうか。



一方で少子高齢化が急速に進む中、西条市は「環境」「社会」「経済」それぞれで多くの課題を抱えており、短期的な視点のみならず20年後、30年後を見越した中・長期的な都市経営が求められています。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く状況下ではありますが、市では「第2期西条市総合計画後期基本計画」の達成目標として、「みんなで実現しよう！持続可能な西条市（西条市SDGsの推進）」を掲げ、アフ

ターコロナや未来を見据えたまちづくりに取り組んでいます。今後も玉井敏久市長を先頭に越智三義会長をはじめ会員一同、「持続可能な西条市」の実現に向け、様々な施策にチャレンジしてまいります。

さて、当支部は、母校に最も近い場所に位置し、会員数367名を擁しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度も会員が一堂に会しての総会及び懇親会の開催が叶わず、総会のみ書面により開催しました。例年、総会後に開催する懇親会は、会員相互の絆を深め、母校への思いを新たにするとはいえず、誠に残念な限りですが、来年度は盛大に開催できることを願っております。大手門をくぐる若き後輩たちにエールを送りつつ、今後も微力ながら、母校の発展に寄与してまいりますと存じます。

## 今治道前会

有志

### 西辻会長を偲ぶ

西辻氏を一言で言うならば、人生を大きく生きた人ですね。

困ったことがあれば、「なんでも言ってみよう。面倒見てやる！」そういった心の広い親分肌の会長でした。何故そういったおらかな、スケールの大きい素質が出来たのか、会長の話を聞いていると、西辻家は父の代は奈良で大きな製材業を営んでいまし

たが、四国西条へ拠点を移し全盛期は四国でも有数の大きな製材業を営んでいたそうです。おちかで、経済的に恵まれた家庭に育ったんですね。高校時代は元巨人軍の藤田監督と同級生で、西条高校野球部の選手とマネージャー。終生の友として、又、巨人軍の後輩達とも交友を深めたそうです。

大学時代は同志社の空手部を率い、社会人になっても交友会、空手の普及に努め、顔の広さ、人望という点でも、今治という一小都市におられるには、惜しい人でありました。

旭東産業という会社のオーナーをされ、日々多忙な中で、長年今治道前会、及び本部の役を快く引き受けられ、色々なお世話をされました。母校愛という点で人後に落ちない人でありました。

又、後輩達の悩み事や進路、就職のお世話も快く引き受けられて、西条高校OB達の救世的存在でした。しかし、悲しくも、どんな人にも人生の終わりが来ることは避けられません。

今治道前会には本当に惜しい人を亡くしました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## お悔み

高橋 護 (60回)

### 西辻勝平さま

大先輩であられた西辻さんは、野球部の繁栄を望み、入部希望者に対して力を尽くされ、学校の先生方にも対応

されてくれました。今治道前会にもご本人からご案内をいただき、毎回のように参加して、校歌を歌わせていただきました。心優しい思いやりのある人柄でした。お亡くなりになり本当に残念です。

### 金子哲夫さま



金子くんとは、同期の野球部仲間であり、3年間猛練習に耐え、結果3年生の夏甲子園で全国制覇を果たしました。高校卒業後プロ野球の阪神に入団、その後広島に移籍してから都合に依り退団する事となりました。それ以後、今治に帰省してからもつきあいを続けておりましたが、幾度となく西条にも来られ、先生方ともお会いし、野球部の練習を見学しておりました。悲しい事に平成15年2月に奥さまを亡くされてからも一人で生活をしておられました。以前と変わりなく西条にいられた時には仲良く過ごしていました。

西条道前会総会時には連絡を取り、必ず出席されて仲間と楽しく飲んで嬉しかったようです。

少々体調が悪い所もあったようですが、そんな事はなにも言わず帰らぬ人となりました。残念です。お二人のご冥福を祈っております。

# 西条金融協会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行  
広島銀行 香川銀行 四国労働金庫

# 随想



## 西条藩第5代藩主 松平頼淳侯と細井平洲

長野達夫(58回)



徳川家康の流  
れをくむ伊予西  
条藩は寛文11年  
(1671年)  
徳川家康の10男

頼宣(紀伊藩主)の次男頼純が初代藩主として就封したことに始まる。

(一柳西条藩については1665年京都女院御所の助役関係で不都合があり幕府から改易されお家断絶となった。)

小藩であったが格式は高く、定府であり、加賀の前田の大廊下、仙台の伊達藩に伍し大広間詰の地位にあった。御三家紀州藩の支藩として主として人的補完に当たった。これを踏まえ藩主は西条侯と呼ばれていた。

宝歴【宝暦?】8年(1758年)西条藩5代藩主、松平頼淳侯が31才の時、中国人の黄蘗山万福寺の住職大鵬禪師と対談することとなり、その時に通事(通訳)として招かれたのが細井平洲であった。

この時の細井平洲の通訳の姿勢や人格と実力に感心した松平頼淳侯がこれ以後賓師として講義等を受けることとなった。

細井平洲もまた年齢31才であり奇しくも同年齢であった。

松平頼淳侯は享保13年(1728年)

紀伊藩6代藩主宗直公の次男として

誕生、家督都合により13才で西条藩

第4代藩主松平頼邑の養子となった。

宝暦3年(1753年)25才で西条藩

第5代藩主となった。

西条藩藩主となった頼淳侯は生来

からの好学の士であったため、士民

の教育の実を上げるため「五慎教書」

「童子訓」等を著わした。

また、西条藩主在任22年間、質素

儉約に努め、財政を豊かにし当時江

戸では米沢藩主、熊本藩主と並び称

される藩主であった。

安永4年(1775年)47才で紀

州藩第9代藩主として、西条藩を去っ

たのは藩にとつては政治面のみなら

ず文化面においても大いなる損失で

あった。しかしこの教育の流れが20

年後の「折善堂」となって整備され

ることとなる。

細井平洲は尾張国知多郡平島村

(現・東海市荒尾町)に享保13年

(1728年)豪農細井甚十郎の長子

として誕生し、幼少から学を好み16

才で京都に学び、その後師中西淡淵

の勧めで長崎に行き、18才から3年

間中国人から中国語を学んだ。

その間、経学・国分・詩文・絵画・書道等広く学び、内外の人士と広く交流することが出来た。

24才で江戸に出て、26才で師の中西淡淵を亡くし、後継者となり「櫻鳴館」を開き孔子の教えを理想とする儒学者の道を歩み始めた。経済的に苦しい塾経営であったが、32才の時「詩経古伝」を完成し10巻4冊として刊行した。ここにその学芸の力を世に認められた。

また、37才の時「櫻鳴館詩集」を発行している。

壮年に至り西条藩主、米沢藩主などに招かれ賓師として講義を行い、その学識は、折衷派と言われるが、諸学派の長所を取り学説よりもむしろ経学の実践躬行にあり、民の力、国の力を養うに有益で活学派というべきものであった。

この考えは、当時藩政が窮乏していた米沢藩の賓師として実践指導し大いに実をあげることとなった。

また西条藩にも質素を旨とした財政思想が行き渡り、西条藩第5代藩主頼淳侯から紀伊藩第9代藩主治貞(改名)となつてから紀伊藩の財政再建を行い「儉約殿様」といわれた。

当時名君の誉れ高く「紀州の麒麟」これと並ぶ熊本藩第8代藩主が「肥後の鳳凰」と呼ばれた。

平洲は、その後安永9年(1780年)52才で尾張藩に仕え第9代藩主徳川宗睦の侍読(先生)となり、藩校明倫堂の督学(校長)として尾張藩の学校教育の基礎を築いた。

第5代西条藩主松平頼淳侯と細井平洲は不思議な縁の人物同志であり、その交流は共に影響を与え合い、最後は紀伊第9代藩主と尾張藩の教育

者としての最高の地位に立った人物であった。

## 陣屋跡の景観にこの頃 思うことー西条栄光教会群 国の登録有形文化財にー

遊口親之(62回)

幼い頃、母親に連れられて母の実家(百軒巷)に行く途中、西条高校の「お矢来」を見て「なんで町の中に山があるん」と問いかけたことを今でも鮮明に覚えている。この小さな経験は私の人生の「旅の始まり」であり、また陣屋跡の風景との初めての出会いであった。

その後東中3年時に友人から西条高校北隣の西条栄光教会(当時の日曜学校高校科)に誘われた。彼は文豪トルストイやドストエフスキーらの映画や小説を通じて「教会」や「キリスト教」を知った。最初に訪問した時、西条高校生20名くらいがクリスマス劇の練習に励んでいたが、その雰囲気や心意気に感動したのを思い出す。

この教会は倉敷レイヨン(倉し)の寄宿舎の聖書研究会を母体とし、その活動に理解を示した企業メセナの先駆者倉し社長大原總一郎の全面的協力によって誕生した。当時は繊維産業全盛期で倉し西条にも四千人位の労働者がいた。その頃かなりの人が倉しで働きながら、西条高校定時制で意欲的に学んでいた。卒業生が年に70名を超えることが何度も

**渡辺美月ピアノ・リサイタル Vol.2 ~音楽の都 ウィーンからの風~**

日時：令和4年7月18日(月・祝) 13時15分開場 14時開演

場所：西条市総合文化会館 小ホール

前売り：一般 1,500円(当日2,000円) 高校生以下 1,000円(当日1,500円)

チケット取り扱い：西条市総合文化会館 /フジグラン西条 サービスカウンター/チケットぴあ  
youkowanbe\_1029@yahoo.co.jp (渡辺)

ウィーン市立芸術音楽大学ピアノ演奏科修士課程で研鑽を重ねております。地元での2回目のコンサートです。応援よろしく願いいたします。(第114回卒)



その埋立地には西条栄光教会の会堂・牧師館・幼稚園舎が建てられた。この教会群の設計者は、当時倉ヶ濱部の浦辺鎮太郎で、後に倉敷の大原美術館分館や倉敷アイビースクエア等を残したモダニズム建築の大家である。浦辺は日本建築学会賞を二度も受賞している。牧師館や会堂の民芸調は、民芸の創始者柳宗悦の感化を受けた初代倉敷民芸館長外村吉之介の助言によるものである。

西条高校南側の西条郷土博物館・愛媛民芸館も浦辺の設計で外村も民



献堂当初(1951)の会堂・牧師館  
その南に旧道前会館が見える。

あった。  
教会は教会堂建築を願って土地を選定していたが、西条高校の教員平野大純(化学)らが職員室から外を見ていて閃き、現在地を教会に提言したという。職員室の前には1946年南海地震で地盤沈下した沼地があった。そこへ倉しの石炭ガラを投入し埋立地を造った。この時初めて西条で本格的にブルドーザーによる工事が行われたようだ。西条高校の東側の小道も拡張され、今につながる遊歩道もできた。



建築写真家北村徹氏によるドローン撮影  
—現在の西条高校校舎群と西条栄光教会群—

芸館の設立や収集・鑑定に大いに與与している。お堀に囲まれた陣屋跡の景観は、水の都西条にふさわしい美観地区となっている。

西条栄光教会建築群は2021年2月26日、県庁本館と共に国の登録有形文化財に決定し、新聞各紙が写真付きで大きく報道した。この決定の背後には、文化財に造詣深い建築家(保存再生ワーキンググループ)代表愛媛大学名誉教授曲田清維・牧師古谷健司(2015年結成)や行政機関や市民の方々の献身的なお働きがあった。

80才が近づいたこの頃思うことがある。西条市民の中で陣屋跡に入った回数が一番多いのではないか。高校生として三年間、その後道前会館・民芸館・博物館・教会・幼稚園などに頻りに出入りを許され、また11年間も母校に教師として勤めさせていただいたからである。私の人生の大半は、この陣屋跡から出発し今も多くの事を学ばせていただけた場でもある。

西条の風景に想う  
越智 哲(73回)

西条高校を卒業してから、もう半世紀になります。お堀に囲まれた高校というのは全国的にも珍しく、風景画としてもよく描かれています。当時はお堀のなかに武徳殿や図書館もあり、校風である文武両道の施設も整っていました。ふるさととは遠きにありて思ふもの・・・といいますが、私は地元の大学、西条市役所と西条を離れず暮らしてきました。住みよい街日本一に選ばれる所以であります。定年退職後も明治屋を引き継ぎ、毎日配達等に頑張っています。また、全国利き水大会2年連続日本一となった、うちぬき水で仕込んだ「うちぬき水どころ」が自慢の純米大吟醸酒です。この豊富な水資源を活用すべく、クラレはじめ、さまざまな大手企業が西条市に進出し、当市の発展に大いに貢献してきました。ここ西条市には以前「溪石荘」というクラレの宿泊所がありました。戦後まもなく昭和天皇が西条を御巡幸された折、御宿泊された歴史的な建物であります。この宿泊所が取り壊されると聞いて何とか残したい気持ちで、20年前差し出がましくも引き取り、飯岡の地へ移築しました。茶室も備え、「明松苑」として大切に管理しています。決して楽なことではありませんが、半ば楽しみながら毎週草挽きや剪定を行っています。春には敷地内の竹林で、毎朝筍掘りや茶



明松苑

摘みで汗を流しています。

ところで西条市の自慢といえば、石鎚山と西条祭りであります。そういった懐かしい風景を描いた郷土の画家の絵画を集めて、店の南隣のギャラリーに展示しております。商店街はシャッター通りと呼ばれて久しく、人通りがめっきり少なくなりました。そこで少しでも活性化に寄与すべく、ガラス張りの内装に替えました。そこには街角ピアノを設置し、希望者に演奏を楽しんでもらっております。是非ギャラリーにお立ち寄りくださり、なつかしい西条を楽しんでいただきたいと思います。



和洋酒、贈答品、名産品

明治屋

西条市大町1702 Tel 56-2282 Fax 56-2278  
会長 越智 忠子(女40) 社長 越智 哲(73回)

創業130周年

純米大吟醸うちぬき「水どころ」石鎚地酒 他 各種  
ギフト、ひめ貝、海苔等名産品、額縁 他

ギャラリーMejiyaでは、ふるさと西条の風景の油絵を  
たくさん展示中

## 大和つた

### 菊地豊栄 (63回)



隠りあるわれにひとつの扉あり  
大和つたなるノブの輝く

人間に混るは恐し然りながら

野辺に遊ぶと言ふにもあらず

言霊の幸ふ八十の巷より

戻り来たりて手の指洗ふ

はしはしと命漲る心地せり

電話会議を終へし束の間

一期一会のえにし尊しあからひく

カン・ハンナ氏らと歌の話す

さくら花恋ひつつ隠るも日常の

かたちとなりて二年は経つ

見てごらん。言はれめぐりを

見回せば二つ三つ咲く赤色の花

水湧きて水奔る町ふるさとは

石鐘山にいだかる町

石走る津越の滝の音はして

武丈の桜も目交に咲く

日輪は泰然自若の濁りなき

朱色にして沈むともなし

菊地豊栄(きくち・とよえ)

「作風社」選歌・編集係

「如月短歌会」運営

埼玉県歌人会理事

日本歌人クラブ会員

歌集『真鍮の花』『草ぼたる』

作品集『如月』など

## 母校の誇り

### 三村 聡 (78回)

#### 敬子(女37回・物故)



私は、岡山  
山大学地域  
総合研究セ  
ンター長・  
大学院社会

文化科学研究科教授として、岡山  
大学と地域社会を結ぶ要の職にあ  
る。専門は経済学とコミュニティ  
政策。普通科から法政大学へ進  
み、苦学の末、博士号を京都大学  
で取得。現在、京都大学経営管理  
大学院の研究員を兼任している。  
母校の思い出はNHK全国合唱コ  
ンクール金賞受賞時の合唱部3年  
生(私の代は県大会2位、全国金  
賞は2年生たち)。還暦を過ぎた  
今でも、カラオケでは、まず「負  
け知らず」(笑)。  
母、敬子は西条高等女学校在学  
時に、英語教員だった父親(私の

祖父)が、捕虜收容所通訳として  
従軍、米潜水艦の魚雷攻撃により  
ミンダナオ沖で戦死。敬子は県女  
卒業後、小学校の代用教員として  
奉職、家族の暮らしを支えた。そ  
して生涯、母校の教えを糧とし、  
「正々堂々と社会の役に立つ」気  
概で教員職を全うした。私自身、  
滅私奉公、校訓「質実剛健」を支  
えに母に続く覚悟。それが母校で  
学んだ誇りであり証であると確信  
している。

さて、西条高校の濠内には、倉

敷市大原家(クラレ創業家)に

縁が深い建築家、浦辺鎮太郎氏

の手による栄光教会、郷土博物

館、愛媛芸芸館が並ぶ。同氏が、

大原美術館分館、倉敷アイビース

クエアはじめ多くの建築を手掛け

た故に、母校の佇まいは倉敷美観

地区に似て水辺の親水空間が実に

美しい。その倉敷は、平成30年7

月西日本豪雨災害で、真備地区が

甚大な被害に見舞われた。こうし

たなか、私は財務省公益法人勤務

や日本商工会議所出向、トヨタ自

動車の研究所や大学人として得た

幅広い経験を期待され「倉敷市真

備地区復興計画推進委員会」委員

長を拝命、今も復興支援の陣頭に

立つ。さらに「誰一人も取り残さ

な」と謳うSDGs (Sustainable

Development Goals) で描いた「倉

敷市第七次総合計画審議会(10年

計画)」や「高梁川流域中枢都市

圏ビジョン懇談会(倉敷市を中核

市に流域7市3町が連携して地方

創生を進める会」の会長を歴任。  
西条はクラレで栄えた産業都市。  
私見ながら西条人として倉敷大原  
家への恩返しの意味を込め奉職し  
ている。

こうして学生指導の傍ら、地域

社会の課題解決に向けて、国から

の依頼や海外連携を含め、自治体

への政策助言や県及び自治体職員

の育成を担当、また、経済界や労

働界とは、調査研究や雇用・産業

振興など、岡山大学としてシンク

タンク機能の一翼を担っている。

おかやま在住の若き諸君、私の

部屋を訪ねてほしい。母校とわが

まち西条の創生、そしてわが国の

未来について大いに語ろう。無念論

歌に自信がある方もぜひ。

## 祖父と私と石鐘と

### 菊原(秋山)恵子 (79回)

車窓からの石鐘に四季折々励ま  
される。

祖父は昭和の半世紀余り郷土史

研究に邁進したが、二十歳で見

送った私には近くて遠い存在。し

かし、五年前、中学の同級会がき

かけで祖父の遺品と向き合う日々

が訪れた。

同級生の著作『銀納義民伝』を

紙芝居に仕立てたいという友の熱

意と祖父もその昔研究していたこ

とがわかり、「伝える会」として

活動を開始、その年の道前会総会

等で募金をお願いしたり、本校  
の地域歴史研究部に脚本を依頼し  
たり。ついに中学生のさし絵に  
よる紙芝居が完成し、銀納義民  
三百五十五回忌に地元大保木にて  
お披露目が叶った。



本人 祖父 秋山英一 妹

五年の間に祖父ゆかりの方々と  
今度は孫が御縁を結び、遺品を県  
内の博物館や美術館に寄贈したり、  
学芸員の方々によって展示して頂  
いたりという機会にも恵まれた。

明治二十八年(一八九五)氷見村

生まれの祖父秋山英一は、伊豫教

員養成所卒業後、県内で教員や銀

行員として勤める傍ら、生涯郷土

史研究に励んだ。特に十六歳で初

登頂した石鐘山に魅せられ、『石鐘

連峰と面河溪』は改訂を重ね、地元

に貢献した人々の伝記、植瑞の干

拓史や黒瀬の郷土史、老樹名木図

説等その関心は多岐にわたった。

インターネットはもとよりコ

ピー機さえ無い時代に現地を訪

れ、史料を書き写し、鉄筆で謄写

して原稿をつづり、十河信二氏や

畦地梅太郎氏をはじめとした大勢

とやり取りした書簡を目の当たり

にし、その情熱に圧倒される。

去る一月

には、NHKの番組内で祖父の遺した戦国大名から村上海賊宛の書状が全国に紹介され、祖父の誇らしい顔が思い浮かぶ。

生前より心の距離が近づいた祖父と対話しながら、実家の遺品整理を続けることで現代の研究者に役立つように、また未来に引き継ぐ手立てを探りたく、車窓の石鎚を仰ぐ日々が続くそんな予感がする。

今後とも、先輩方のご指導を切に願います。



### 一人一人が まちをつくる

戸田聖子 (103回)

高校を卒業して以来、私はふるさとを避けてきたように思う。しかし、現在「西条に住んでよかった、という人がたくさんいるまちをつくらう」と、市民活動支援を奔走しているのだから、本当に

人生何があるかわからない。

現在、私は紺屋町商店街にある「西条市市民活動支援センター」で、市民の自発的な社会貢献活動「市民活動・NPO活動のサポート」や、それらの活性化のお手伝いをしていく。この施設は、行政が設置し民間が運営する形態であり、その民間セクターとして、私が所属するNPO法人西条まちづくり応援団が運営を担っているのである。

日々の業務の中で、私自身が西条のことを何も知らなかったことに気づかされ、また地域づくりに参画される市民の皆さんの活動を知ること、自分たちの手で、地域はより楽しく・住みやすくなるのだ」と実感の毎日を過ごしている。嬉しいことに、西条高校をはじめ市内の高校生たちが、地域やNPOに興味を持ってくれることが多くなり、現在30名ほどの高校生・大学生がこのセンターの情報発信に関わってくれるようになった。今では、進路相談等にも立ち寄ってもらえるようになり、少しずつではあるが多世代間でのゆるやかなつながりが出来つつあると感じている。

7月には、複合施設「SAIJO BASE」(市内明屋敷)がオープンし、市民活動支援センターもそこに移転予定となっている。産業支援を含めた多様な観点から、人々のチャレンジを応援するこの施設では、また新たなネットワークも

生み出されていくことであろう。

特に若い世代には、自分たちの手で何かを生み出せるという経験や、自分たちが地域をつくる一員であるという実感を持てるよう、今後も市民活動に関わる機会をつくっていきたくと考えている。

私が思う魅力ある地域とは、互いの活動を認め合い、応援し合えるような地域である。その一員として私自身もチャレンジを続けるとともに、皆さんの応援団でありたいと感じている。



### 寄稿まへの歩み

松田 楓 (116回)

みなさん、こんにちは。

116回卒業生では初となる、道前会報・随想への寄稿！今の私ではなかつたら、このようなお

話は頂けていません。今回は、そんな今の私になるまでのことを書かせていただきます。

高校時代は、ことわざ「二階から目薬」の検証をしたり(失敗しました)体育館前のマンホールに片足が落下、就職活動の履歴書作成のため、夜9時過ぎまで何度も書き直した…などたくさん思い出があります。

中でも部活動の思い出はとて強く残っています。

入学後は、中学と同じ部活にとバドミントン部へ入部。ですが「自分のやりたいことは何か?」と考え、2年生から簿記部へ入部。簿記部では、日商簿記検定の取得・簿記コンクール(野球という甲子園)への出場など、とても熱血な顧問のもと部活動をしていました。

簿記部への入部がキッカケとなり、「この知識を活かせる仕事に就きたい」と思った私。高校卒業後に現在働いている【東予信用金庫】へ入庫することになりました。当時、働いた経験といえば正月の七草・巫女さんのアルバイトのみ。入庫後は早く仕事に慣れようと、模擬紙幣を用いてお札を数える練習や事務手続の習得に必死でした。

また、【東予信用金庫】では毎年8月11日の山の日に併せて、職員全員でアウトドア活動をしており、活動内容は登山やサイクリングなど様々です。

登山と出会った1年目の8月に

は「瓶ヶ森」へ登山。景色の素晴らしさ、登山の楽しさを実感し【東予信用金庫】の登山部へ入部しました。その後は伊予富士や石鎚山など登っています。

そんな私も、入庫し7年目。窓口係の経験を経て、現在は渉外係として西条市内を走っています。一人一人のお客様により一層密着した活動が出来ていると強く感じております。渉外係となったことで、西条高校卒業生の方達と出会い、今回の道前会報・随想への寄稿のお話を頂くことができました。

西条高校卒業生の皆様、毎日明るく元気に活動しておりますので、西条市内で見かけた際は是非お声掛けください！



本部及び各支部役員

Table listing members of the main office and various branches, including names and phone numbers.

Table listing members of the Tohoku Branch (東北支部) and other regional branches.

Table listing members of the Hokkaido Branch (北海道前会), Aomori Branch (青森支部), and other regional branches.

Advertisement for 'Mother's Support' (母校に立つ同窓教職員) featuring a list of names and their respective roles.

Advertisement for 'Regular Manufacturing Branch' (定時製造前会) listing members and contact information.

Advertisement for 'Public Interest Incorporated Association Nishikawa Silver Human Resources Center' (公益社団法人西条市シルバー人材センター) with contact details and services.

## 寄附金 (太字は高額寄附者)

伊藤綾男 (52回)	藤村慶八 (57回)
市役所道前会	栗田寿夫 (58回)
一色敬義 (53回)	笹沼(田中)美千代 (58回)
栗田肇 (58回)	松本慶三 (59回)
明星(星加)京子 (女38回)	高橋利重 (62回)
村上俊行 (58回)	寺川和夫 (65回)
	亀岡(高橋)マリ子 (65回)
越智(越智)百合子 (女33回)	安永(中野)道子 (66回)
伊川隆治 (50回)	一色美佐子 (66回)
藤田(竹村)葉子 (53回)	秦千草子 (80回)
小野俊明 (55回)	寺尾知明 (117回)

## 寄贈図書目録

ソーシャル・リサーチ 第46号	遊口 親之 (62回)
伊予西条藩の歴史研究余話【加藤正典(54回)著	
道前学会雑誌 明治40年5月20日発行	加藤 正典(54回)
五月の蛍	一柳 和孝(63回)
如月27号【菊地豊栄(63回)著】	菊地 豊栄(63回)
地域モビリティの再構築【三村聡(78回)著】	
	三村 聡(78回)
笑おうね 生きようね	伊藤 孝志(64回)
村上海賊の娘 上巻・西條史談 第112号	西原 俊基(58回)
聞き出す力【近藤勝重(64回)著】	鎌田 淳子(65回)
古代史の「舞台」を歩く	
西条の鼻「禰禰」を造った竹内立左衛門 他4冊	
	松本 慶三(59回)

## お悔み

今治道前会会長であり、道前会本部顧問であった西辻勝平さん(52回)が令和3年6月12日ご逝去されました。生徒や学校、道前会のために多大なるご尽力をいただきました。

道前会本部顧問であり、元会長の佐伯継一郎さん(52回)が令和3年9月1日にご逝去されました。佐伯さんは、地元西条市で弁護士として活躍、人望も厚く道前会再建のために、ご尽力いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 道前会会費納入のお願い

大手門は昔も今も現実世界ともう一つの世界との結界でした。

もう一つの世界とは、旧制西条中学時代から西条高校へと、連綿と続く若者たちの夢と不安の入り混じった青春の物語で溢れた世界でした。

そこは、若者たちの精一杯生き様を表現する舞台でもありました。役者として舞台上に立ち、時には演出もこなし、破天荒な舞台を創った筈でした。そして、舞台上で繰り広げられた青春劇を若者たちは、語り部として語り継いだのでした。私たちのアイデンティティーは、語り継がれたこの青春劇の中にある筈です。

それは、春まだ浅い朝、冠雪した石鎚を仰ぎつつ、大手門に一步足を踏み入れれば確信できるはずです。

年々歳々道前会の会費納入者が減少しています。学び舎として大手門に足を踏み入れる若者たちに、先輩や私たちが創り、受け継いだ青春物語を伝えるためにも、是非とも会費の納入並びに会費納入者の拡大にご協力ください。

## お知らせ

### 【輝安鉦デザイン入りタオルの完成】

今治支部長 西辻勝平様のご尽力を賜り、商業科生徒が輝安鉦をデザインし、刺繍したタオルが完成いたしました。道前会会員の皆様には、タオル制作にあたり挑戦したクラウドファンディングへ、沢山の温かい応援をしてくださりましたこと、心より感謝いたしております。御礼申し上げます。

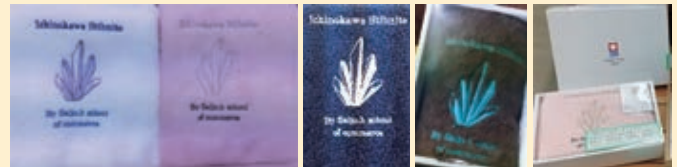
令和4年8月に、三越松山店内で商業科及び科学部生徒の研究発表やボールペン等のワークショップ、パネル展、タオルの販売実習を計画しております。(詳細は決定次第、本校ホームページでお知らせいたします。)

是非、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご来場が難しい場合は、タオルを下記の要領で販売させていただきます。

よろしく願い申し上げます。

フェイスタオル (85×35cm)	1枚 1,300円
ウォッシュタオル (35×40cm)	1枚 900円
ハンカチタオル (25×25cm)	1枚 700円



※色は、フェイスタオルとハンカチタオルは白・茶・ピンク・紺の4色、ウォッシュタオルは、白と紺2色です。

※ご希望の方には、お化粧箱にお入れできます。(お箱代100円)

※連絡先: 西条高等学校 電話(0897)56-2030

商業科 輝安KOU房 担当教員 渡辺洋子

### 【西条高校卒業50年を迎えて】

越智 哲 (73回)

多感な少年時代を過ごした西条高校を卒業してから、50年経とうとしている。当時は学歴社会での大学受験最中の卒業式であった。

例年、西条高校の卒業式に招待される50年前の卒業生は、新型コロナの流行のため、ここ2年は連続中止となっている。来年も同様に招待されないかも知れない状況である。

この3年間の世界情勢はコロナ・戦争ときびしく、西条市においても、四半世紀前に西条市に進出し、地元で親まれたアサヒビール四国工場が、2023年1月末で閉鎖されることが決まった。撤退が決まった日に新聞やテレビ局の取材を受け、私自身生まれて初めてのことであり、緊張とストレスで大変だった。西条市にとっても大きな痛手である。それを補うべく、我々一人ひとりが努力していかなければならない。

まずはコロナ流行が収まり、そして故郷西条が発展することを願い、是非私たち73回卒業生も、来年の卒業式には招待されて出席が叶うよう、願うばかりである。その時は皆さん、なつかしい母校を盛り上げようではありませんか。

### 【年会費納入のお願い】

会費(1口・2000円)は、母校の発展に寄与する諸活動に使われています。今年度より、道前会年会費はスマートフォンアプリからも振り込めるようになりました。振込用紙の裏面をご確認ください。また、複数口ご協力いただける方は、郵便局よりお振込みをお願い申し上げます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。